

日吉津村自治基本条例策定委員会グループ3（第2回）議事録

日時：5月18日（日）午後7時30分～9時40分

場所：役場第3会議室

出席者 池田委員、川原委員、住田委員

欠席者 山崎副委員長、田邊委員、奥田委員、

事務局 前田課長、福井主査

○協議

◇自治基本条例の内容の検討について

グループ3（議会）

（事務局）

- ・前回の議事録に基づきおさらい。

<議会全般について>

- ・村民にはできるだけ議会の傍聴をしていただきたい。
- ・議会を傍聴するにあたって、議論の内容によっては村民に理解しづらいものもある。例えばこれまでの流れを知っていないと分からないもの。詳細資料に基づいて議論している内容など。村議会は委員会を含め原則公開としているが、本会議以外の日程を周知できていないのが現状。
- ・先般視察した滋賀県甲良町では、休日に議会を開催したが、傍聴者は平日でも来ている方であった。議会傍聴へのきっかけづくり、関心を持っていただく良い手法がないものか。
- ・「議会だより」は村民に読んでもらっているだろうか。
- ・「村報」は読むが、「議会だより」は「斜め読み」して関心があるところだけ読んでいる。実際、読んでいない方が多いのではないか。
- ・村民に議会へ関心を持っていただくことが課題。
- ・前回の議会から、村のホームページに一般質問者と質問事項を掲載するようになった。また、CATVでは一般質問の再放送で、質問の内容と概ねの放映時間をホームページに掲載している。
- ・議員が個人のホームページ、講演・報告会、チラシ等で政治活動の情報提供を行い、村民に関心を持ってもらえるよう努力が必要ではないか。そうすれば議会活動も活発になる。
- ・狭い村内なので、議員のホームページではなく、チラシ配布や講演・報告会が有効ではないか。
- ・この会で以前にも議論したが、マニフェストと、最低年1回の成果報告の実施が重要だと思う。

<村民について>

- ・ 村内に住んではいるが、例えばワンルームマンションやアパート住まいの単身者等、村民という意識がない人に、どのように村民という意識付けができるかが課題ではないか。

○閉会